

3 地区別カルテ【B エリア】

No.14

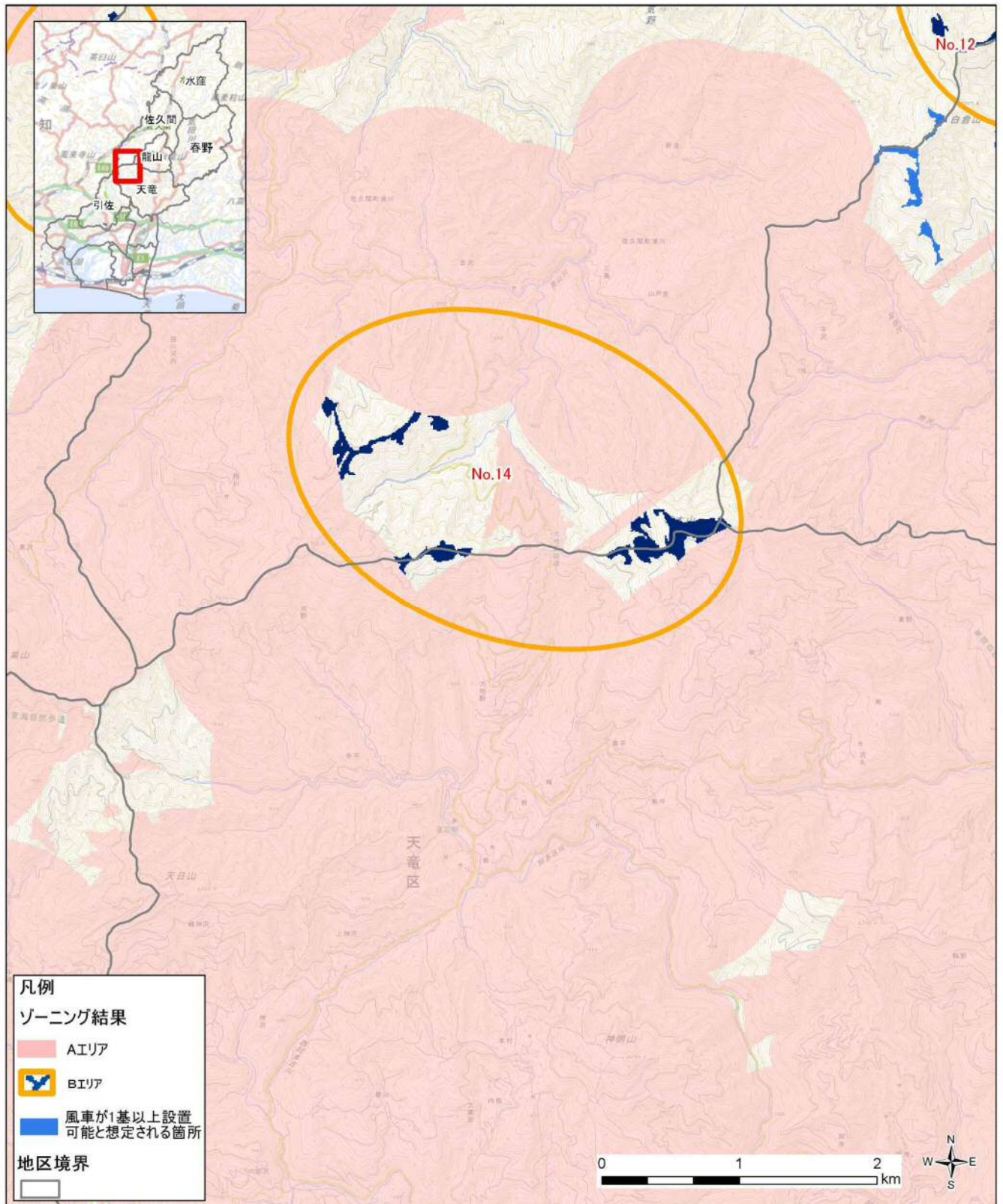
天竜区熊、佐久間町浦川、龍山町大嶺

【Bエリア】地区別カルテ:公開版

No.14

天竜区熊、佐久間町浦川、龍山町大嶺

ゾーニングマップ



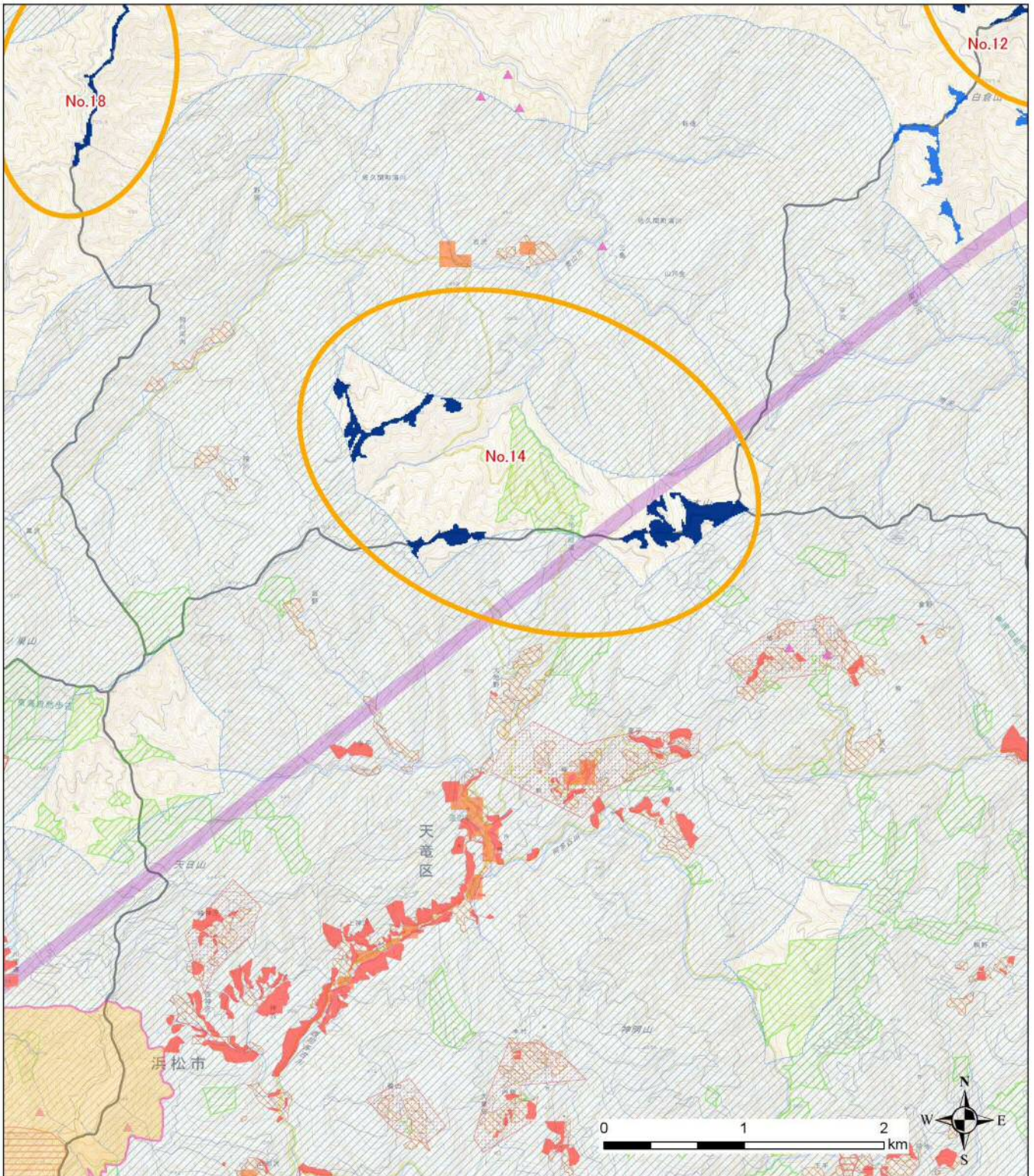
No.14		地区周辺の A エリアに関する調査結果一覧		
情報 No.	カテゴリ	項目名	情報名	結果 (対象地区周辺の状況)
1	法令等による指定地	自然公園	自然公園 (特別保護地区、第 1 種特別地域、第 2 種特別地域又は第 3 種特別地域のうち植生復元が困難な場合)	なし
2		鳥獣保護区	特別保護地区	なし
3		ギフチョウ保護地域	浜松市ギフチョウの保護に関する条例による保護地域	近傍にあり
4		風致地区	風致地区	なし
5		地すべり・土砂災害等	土砂災害特特別警戒区域	近傍にあり
6			地すべり防止区域	近傍にあり
7			砂防指定地	なし
8			急傾斜地崩壊危険区域	なし
9		航空法による制限表面	水平表面及び進入表面	なし
10		電波障害	電波伝搬障害防止区域	近傍にあり
11		景観	市が指定する景観資源	近傍にあり(渋川自然環境保全地域)
12		文化財	国等指定文化財	近傍にあり(ヒラシロ遺跡、吉沢のスギ、浦川のオホバシクナゲ群落など)
13		保安林	保安林 (水源涵養保安林以外(国有、民有含む))	近傍にあり(民有林)
14		保護林	保護林	なし
15		農業地域	農業振興地域内 農用地区域	近傍にあり
16	土地利用状況	土地利用区分	土地利用区分 (建物用地、道路、鉄道、河川地及び湖沼、ゴルフ場)	近傍にあり(建物用地)
17		建物からの距離	最寄りの建物からの離隔	約 850m

※ 調査対象の範囲の表現

該当：概ね対象エリアの青地内に、その情報が存在

近傍：表示されている図の範囲内に、その情報が存在

No.14 地区周辺のAエリアに関する情報



凡例

ゾーニング結果

- B1エリア
- ※橋内内の紺色■が該当
- 風車が1基以上設置可能と想定される箇所
- 地区境界

自然公園

- 特別保護地区
- 第1種特別地域
- 鳥獣保護区
- 鳥獣保護区(特別保護地区)
- ギフチョウ保護地域
- ギフチョウの保護に関する条例による保護地域
- 風致地区
- 第1種
- 第2種

地すべり・土砂災害等

- 土砂災害特別警戒区域
- 地すべり防止区域
- 砂防指定地
- 急傾斜地崩壊危険区域

航空法による制限表面

- 水平表面及び進入表面

文化財

- 指定文化財

景観

- 市が指定する景観資源

電波障害

- 伝搬障害防止区域

農業地域

- 農業振興地域内農用地区域

土地利用区分

- 建物用地
- 道路
- 鉄道
- 河川地及び湖沼
- ゴルフ場
- 建物からの離隔850m圏内

保安林(水源涵養保安林以外)

- 国有林
- 民有林

保護林

-

No.14		エリアの調査結果一覧		
情報 No.	カテゴリ	項目名	情報名	結果
1	①事業性	風速	風況マップ(地上高80m平均風速)	6.0~7.5m/s
2		林道	既存林道からの距離	約 0.2km
3		道路	幅員 3.0m 以上の道路からの距離	約 0.3km
4		電気設備系統	送電線(157kV 以下)からの距離	約 4.2km
5	②法令等による指定地	重要な動植物・生態系	静岡県 RDB で指定している「今守りたい大切な自然」指定地域	なし
6			生物多様性はままつ戦略で指定している「注目すべき場所」	近傍にあり(浦川のエンシュウシヤクナゲ群落、枯山の里山林)
7		埋蔵文化財	埋蔵文化財包蔵地	近傍にあり(ヒラシロ)
8		自然公園	自然公園(第 2 種特別地域、第 3 種特別地域、普通地域)	なし
9		自然環境保全地域	自然環境保全地域	近傍にあり(渋川自然環境保全地域)
10		鳥獣保護区	鳥獣保護区	近傍にあり(青少年旅行村、東海自然歩道北遠)
11		保安林	保安林(水源涵養保安林(国有、民有含む))	近傍にあり(国有林・民有林)
12	国有林	機能類型	—	
13	③地形・地質	地すべり・崩壊地等	活断層からの距離	約 4.3km
14			崩壊地等の微地形判読結果	崩壊地・崩壊跡地、地すべり移動体・滑落崖、二重山稜・線状凹地、階段地形、岩盤クリープを確認
15			地すべり等の発生情報	あり
16	④自然条件 (動植物・生態系)	重要な植物・植生	自然度の高い植生	該当(植生自然度 9)
17			特定植物群落	近傍で確認情報あり
18			重要な植物及び群落等	近傍で確認情報あり
19			重要な植物確認情報	なし
20		地域ヒアリングによる植物確認情報	なし	
21		重要な動物・生息場	クマタカ営巣可能性の高い場所からの距離(HSI解析)	0~250m
22	鳥類の生息に関する「注意喚起メッシュ」		注意喚起レベル C	
23	コウモリ生息情報		5km 圏内で確認情報あり	
24	コウモリ洞からの離隔		10km 以内	
25	重要な動物確認情報		なし	
26	地域ヒアリングによる動物確認情報		近傍で確認情報あり	
27	⑤景観・人と自然との触れ合い	景観	市が指定する主要な眺望点	秋葉山山頂: 10.3km
28			身近な視点場からの見え方(現地写真)	熊小学校、道の駅くんま水車の里から想定風車配置の稜線が視認できる可能性がある。
29			自然歩道からの距離	約 1.1km
30	⑥利用	水源	湧水・取水地点(概ね下流 2km 圏内)	下流域にあり
31			飲料水供給施設(概ね下流 2km 圏内)	下流域にあり
その他、特筆すべき事柄			<ul style="list-style-type: none"> ・本地区は「平成の名水 100 選」に選出された阿多古川の源 ・獣害が深刻 ・近傍にモトクロス場が存在する ・熊地区(南斜面)は降水量が多い ・箒木山は熊小学校の校歌にも挙がるランドマークである ・尾根付近に太陽光発電施設、共同アンテナ、風況観測のテストポール、雨量計が存在する ・尾根付近に過去の風力発電計画地が存在する ・ソーラーパネル運搬時の林道があるが、鉄板を敷く必要があった。 	

※ 調査対象の範囲の表現

該当：概ね対象エリアの青地内に、その情報が存在

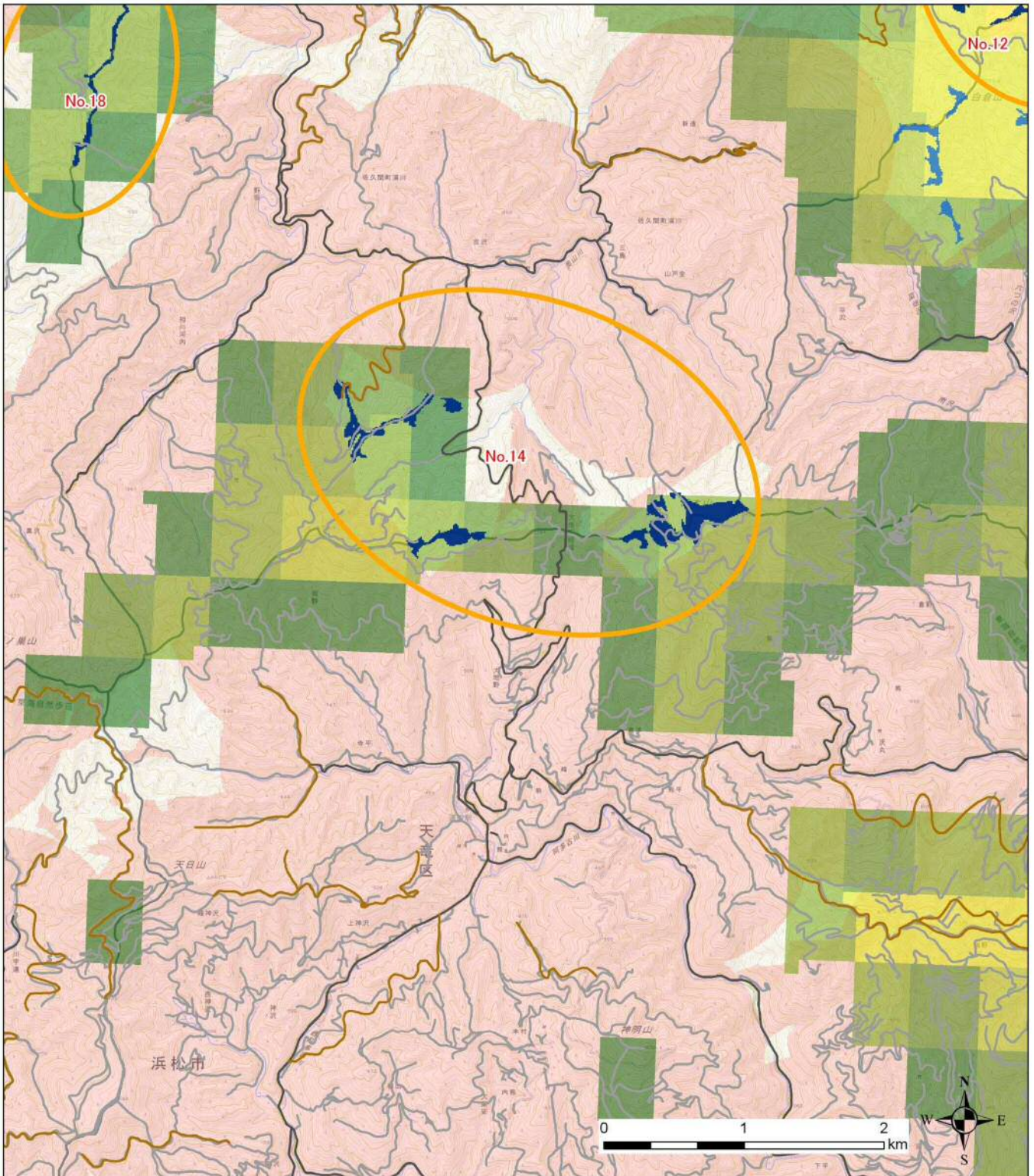
近傍：表示されている図の範囲内に、その情報が存在

★特記事項

- ・当該エリアにおいて、浜松市天竜区熊及び佐久間町浦川を事業実施区域とした事業の環境影響評価手続きが行われていた。
- 平成 29 年 5 月 30 日計画段階環境配慮書が経済産業大臣に送付された。
- 平成 29 年 9 月 14 日環境影響評価方法書が浜松市長に送付された。

→令和3年7月30日に「十分な事業性を担保した事業計画の立案が極めて困難である」との理由から対象事業の廃止等通知書が浜松市長に送付された。

No.14 ①事業性(風況、道路、電気整備系統)



凡例

ゾーニング結果

- AIリア
- BIリア
- ※橋田内の紺色■が該当
- 風車が1基以上設置可能と想定される箇所

地区境界



風況マップ

- | | |
|--------------|---------------|
| ■ 5.5~6.0m/s | ■ 8.0~8.5m/s |
| ■ 6.0~6.5m/s | ■ 8.5~9.0m/s |
| ■ 6.5~7.0m/s | ■ 9.0~9.5m/s |
| ■ 7.0~7.5m/s | ■ 9.5~10.0m/s |
| ■ 7.5~8.0m/s | ■ 10m/s~ |

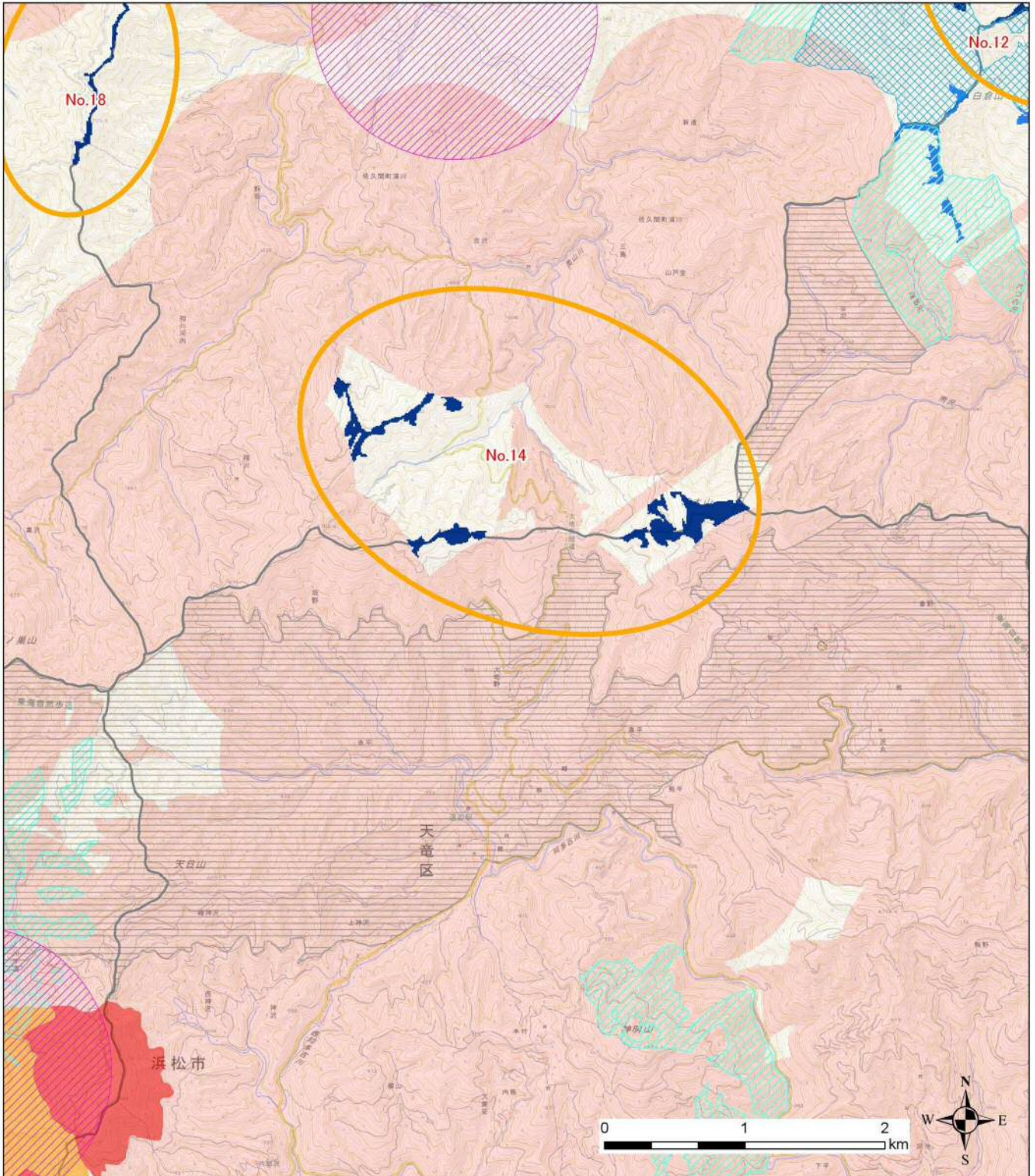
道路

- 幅員3.0m以上
- 幅員3.0m未満
- 林道(供用路線)

送電線

- 77kV以下
- 154kV
- 275kV以上

No.14 ②法令等による指定地



凡例

ゾーニング結果

- AIエリア
- ☑ Bエリア
※楕円内の紺色■が該当
- 風車が1基以上設置可能と想定される箇所
- 地区境界
-

重要な動植物・生態系

- 静岡県RDBで指定されている「今守りたい大切な自然」
- 生物多様性はままつ戦略で指定されている「注目すべき場所」

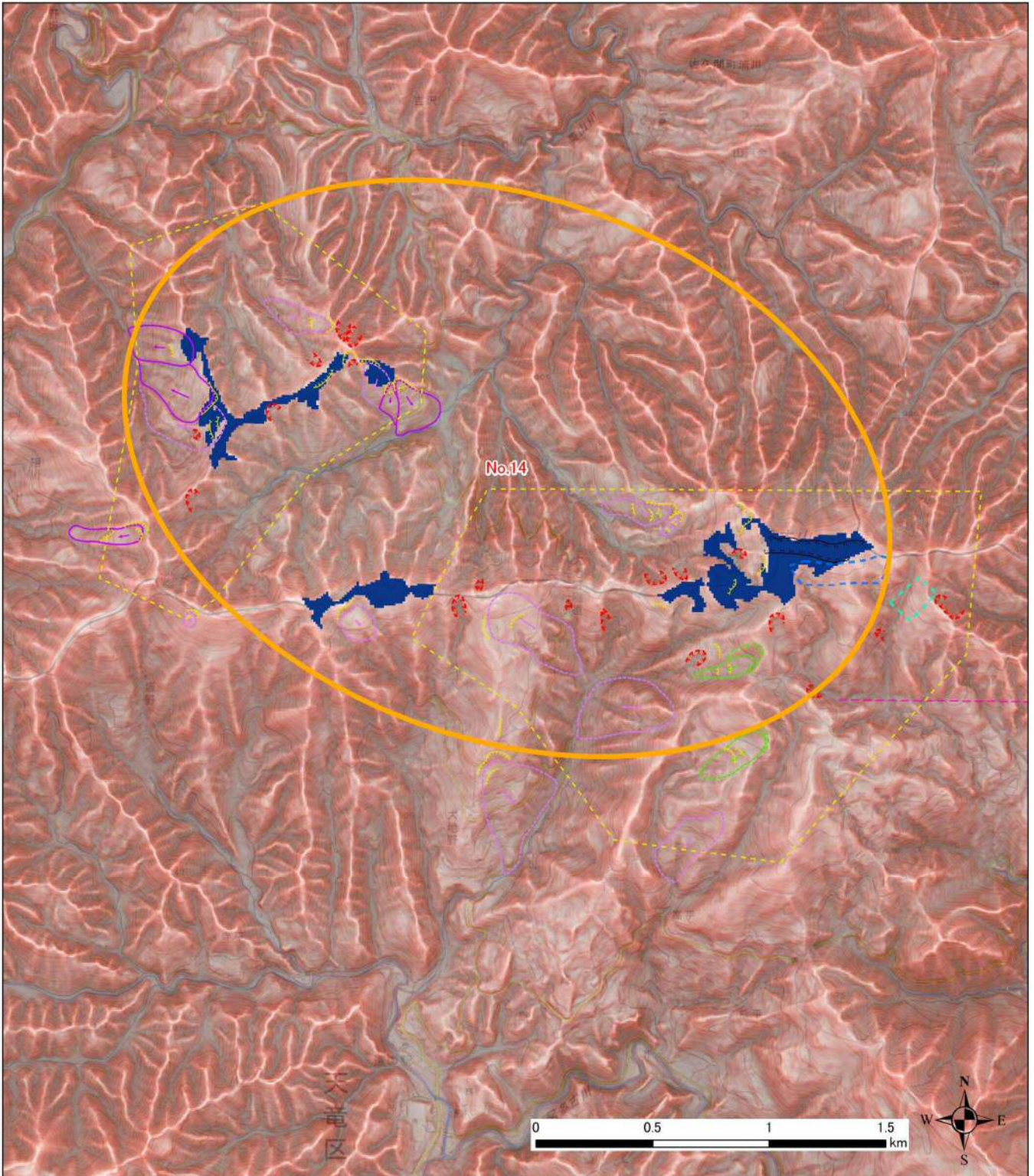
埋蔵文化財

- 埋蔵文化財包蔵地
- 自然公園**
- 第2種特別地域
- 第3種特別地域
- 普通地域
- 海城公園地区
- 区分未定

自然環境保全地域

- 特別地区
- 普通地区
- 鳥獣保護区**
- 鳥獣保護区
- 保安林(水源かん養保安林)**
- 国有林
- 民有林

No.14 ③地形・地質



凡例

ゾーニング結果

- Aエリア
- Bエリア
- ※精内内の紺色■が該当
- 風車が1基以上設置可能と想定される箇所

地区境界

-

活断層

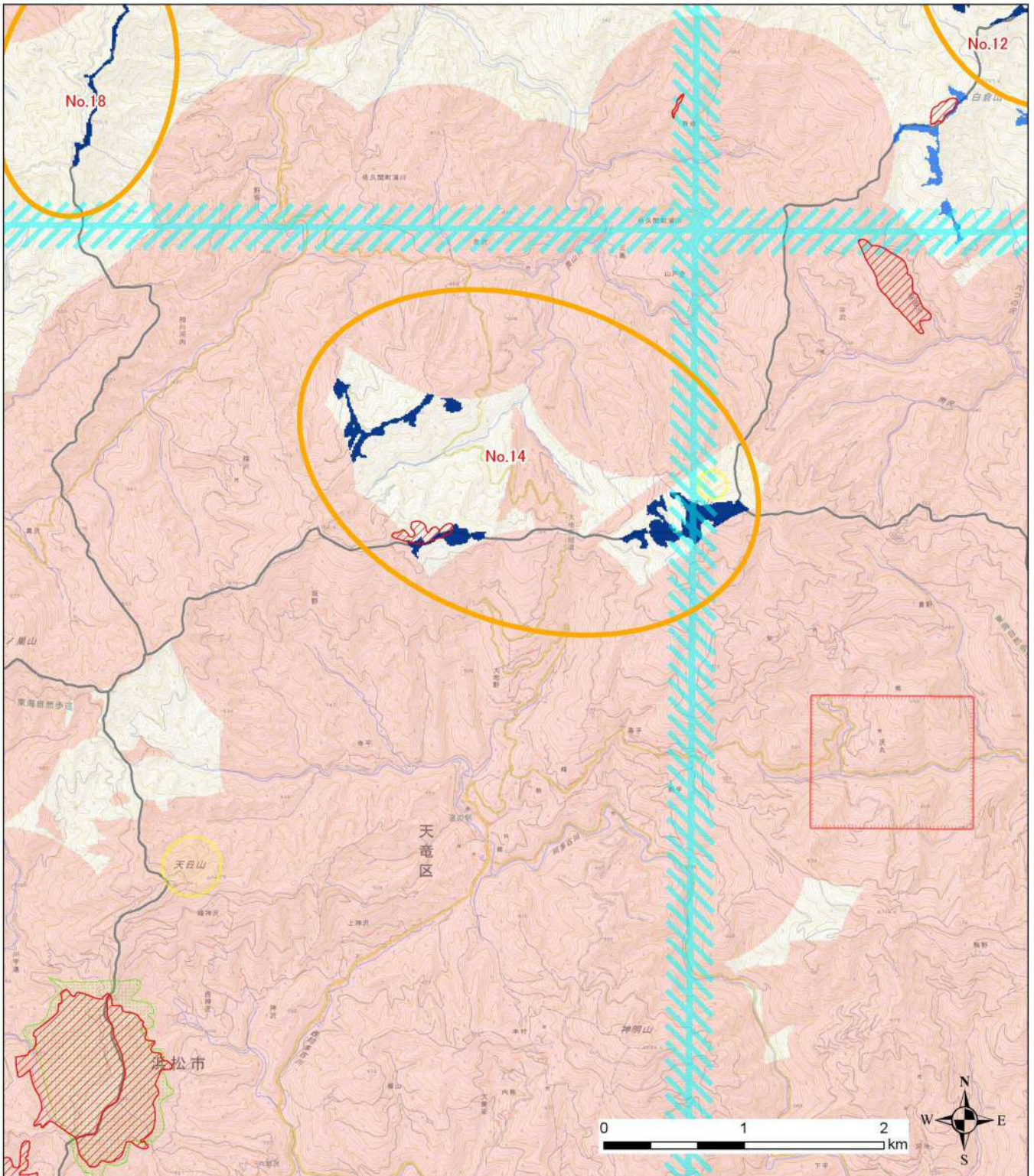
- 活断層
- 微地形判読結果**
- 概略の判読範囲
- リニアメント
- 二重山稜・線状凹地
- 段差地形
- 崩壊地・崩壊跡地
- ガリー

- 地すべり移動体(明瞭)
- 地すべり移動体(不明瞭)
- 地すべり(明瞭)滑落崖
- 地すべり(不明瞭)滑落崖
- 岩盤クリープ(明瞭)
- 岩盤クリープ(不明瞭)
- ※矢印は移動方向を示す

地域ヒアリング情報

- 崩壊地
- 土石流の危惧あり
- 崩壊地
- 崩壊等の危惧あり

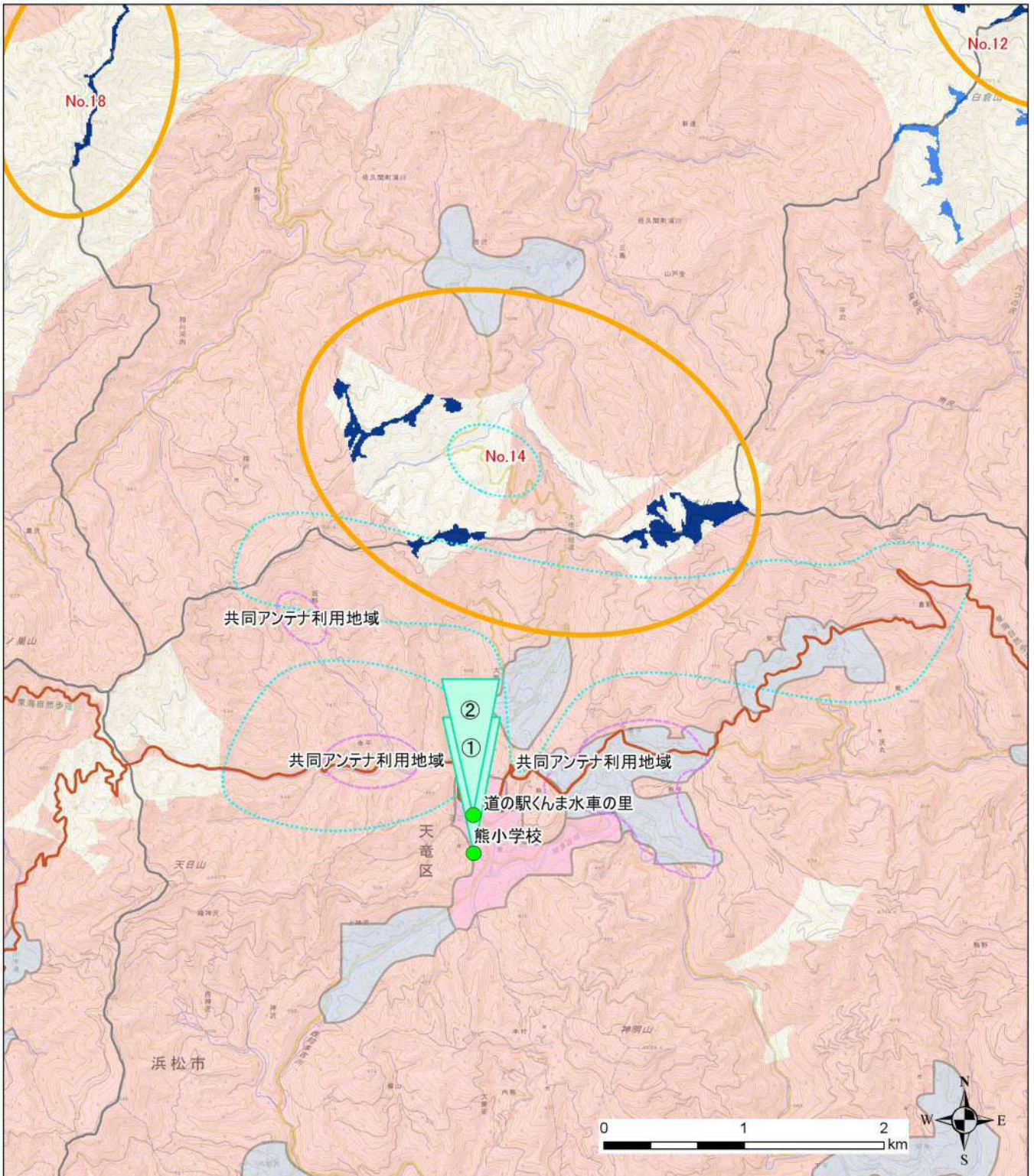
No.14 ④自然条件（動植物・生態系）



凡例

- | | | | |
|---------------------------|--------------|------------------|------------------|
| ゾーニング結果 | 植生自然度 | コウモリ生息情報 | 地域ヒアリング情報 |
| □ Aエリア | ▨ 植生自然度9 | ▨ コウモリ分布(3次メッシュ) | ● 動植物 |
| ▨ Bエリア | ▨ 植生自然度10 | ▨ 鳥類注意喚起メッシュ | ● 動植物 |
| ※楕円内の紺色■が該当 | ◆ 特定植物群落 | ▨ 注意喚起レベルA3 | ▨ 動植物 |
| ■ 風車が1基以上設置
可能と想定される箇所 | ◆ 特定植物群落 | ▨ 注意喚起レベルB | |
| 地区境界 | ▨ 特定植物群落 | ▨ 注意喚起レベルC | |
| □ | | □ 情報なし | |

No.14 ⑤景観・人と自然との触れ合い ⑥水利用



凡例

ゾーニング結果

- Aエリア
- Bエリア
- ※楕円内の紺色が該当
- 風車が1基以上設置可能と想定される箇所

地区境界

-

- 東海自然歩道
- ▲ 市が指定する主要な眺望点

- 身近な視点場
- ▲ 撮影方向

その他ヒアリング情報



- その他
- その他

湧水・取水点等

- 水道給水区域
- 簡易水道区域
- 飲料水供給施設

景観調査結果

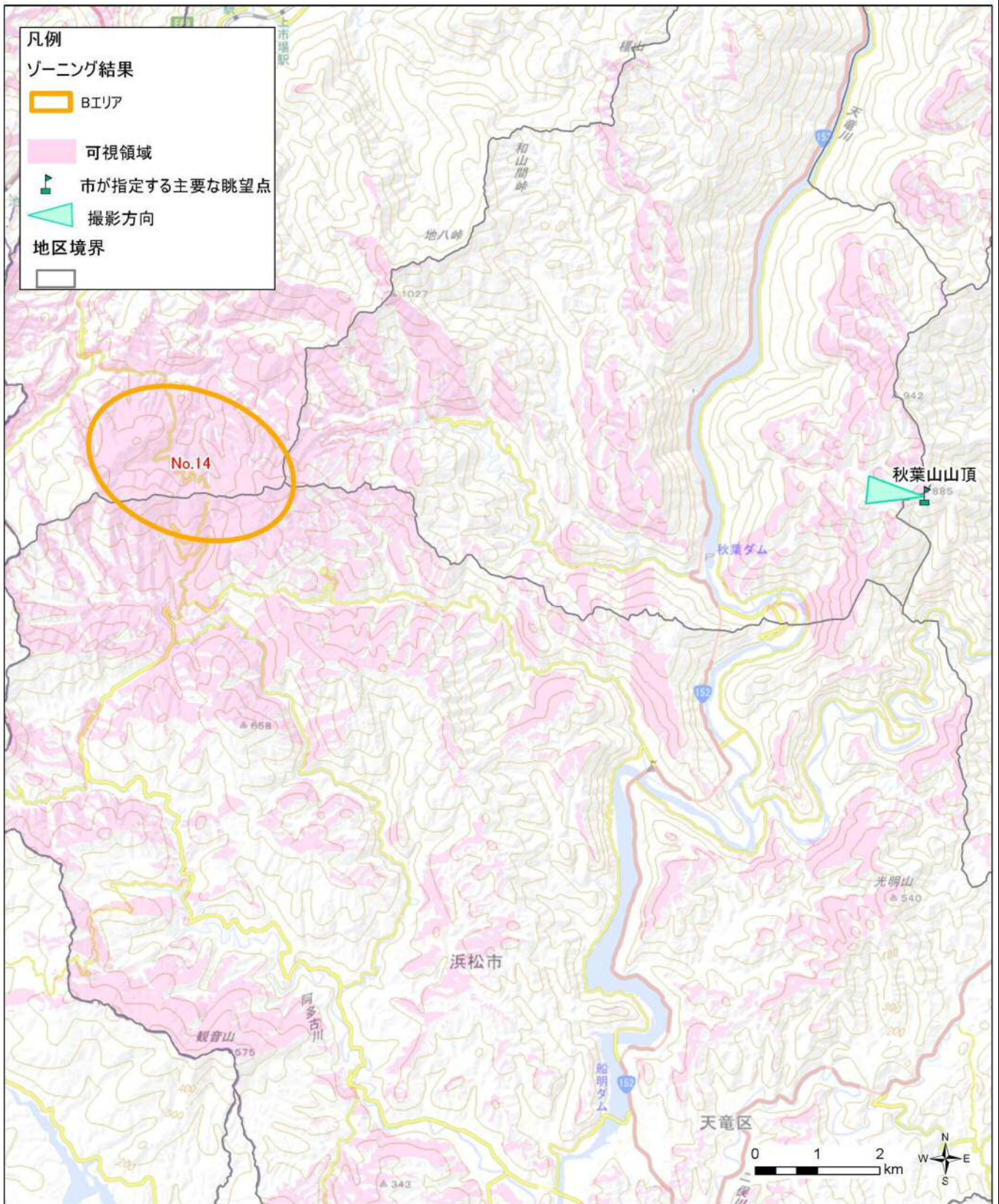
身近な視点場からの見え方

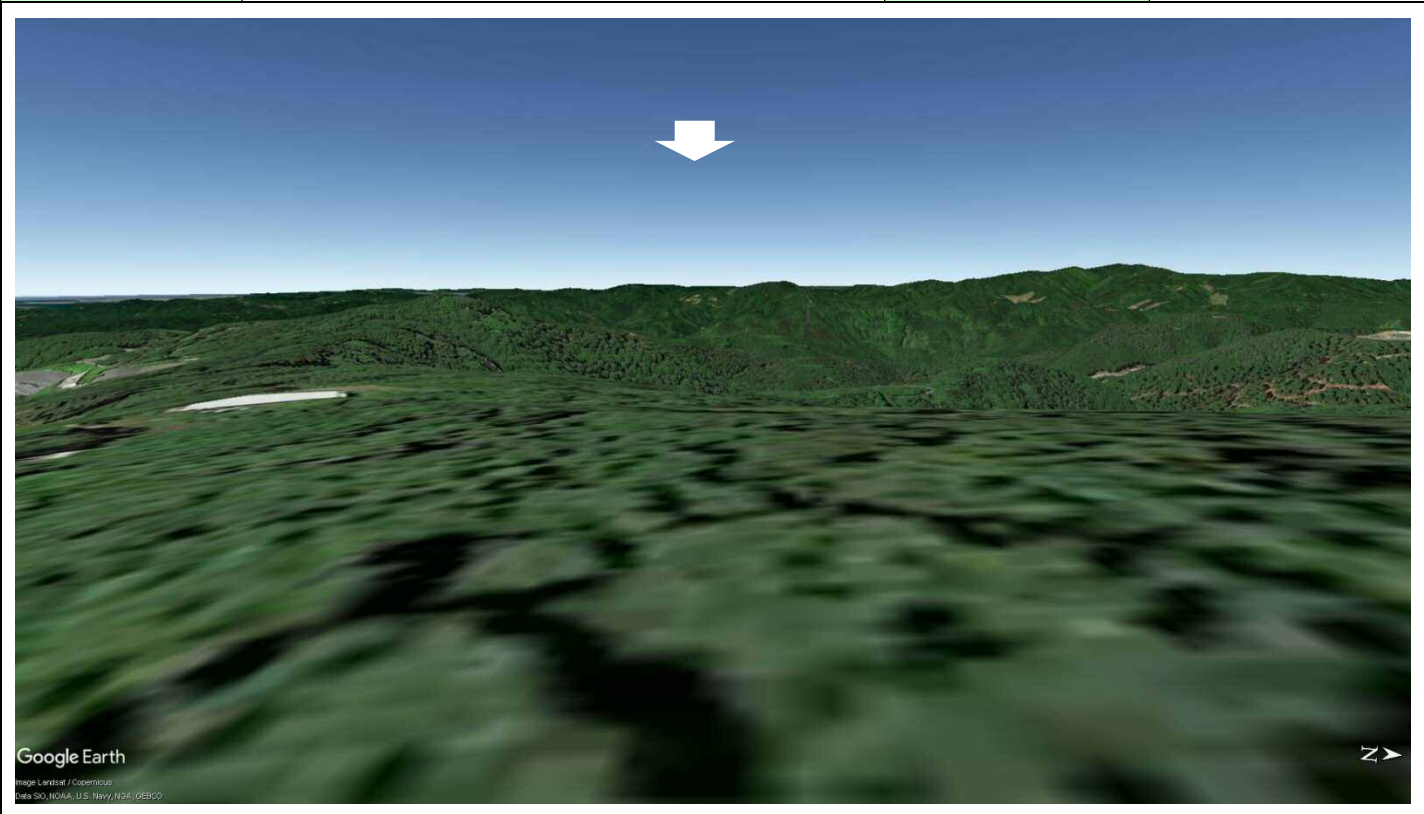
①熊小学校から北方向	②道の駅くんま水車の里から北方向
風車が視認できる可能性がある。	風車が視認できる可能性がある。
	

※視点場の位置と方角は、前述【⑤景観・人と自然との触れ合い ⑥水利用】の図に示す。

景観調査結果

No.14 主要な眺望点からの見え方



眺望点名	秋葉山山頂	対象地の方向	西
 An aerial photograph of a vast, green, hilly landscape. A white arrow points downwards from the top center of the image to a specific location on the ground. The terrain is covered in dense green vegetation, with some lighter patches that could be fields or roads. The sky is clear and blue. In the bottom left corner, there is a 'Google Earth' logo and some small text. In the bottom right corner, there is a small icon of a right-pointing arrow with a 'Z' above it.			

※図中の矢印は、風車が見えると想定される方向・場所を示す。

地域意見のまとめ

水源	水源への事業影響（水量の変化、水源汚染、山の保水力低下）を最も懸念。
騒音・低周波	地形等の条件により、風車稼働による騒音・低周波音の伝達が影響を受ける可能性もあるため、十分に配慮が必要である。
景観	日常の生活の場からの自然的景観への影響を懸念。
その他	Bエリアに近接している3自治会が風力発電立地に対して、反対の意向（水源や景観への影響、崩落の懸念等）。過去に計画されていた、民間事業者による風力発電計画に対し、熊地区連合自治会が懸念（水源や騒音等）を抱いており、ゾーニング結果が出るまで、環境影響評価の手続きを進めないよう要請をしており、環境影響評価の調査が停止していた。（平成31年2月）

地域住民から自治会ヒアリング及び地域説明・勉強会で寄せられた各種意見・情

報

■水源

- ・ 熊地区は昔から水で苦労しているため、水源の確保が一番大切で非常に懸念している。
- ・ 平成30年の台風24号により、水源が枝等で詰まった。
- ・ 降雨時に林道からの濁水が水源に入るため、地元が定期的に掃除をしている。
- ・ 尾根部を開発すると、水みちが変わり、山の保水力低下を招くことを非常に懸念している。

■騒音・低周波

- ・ 騒音・低周波音に対する懸念がある。
- ・ 騒音は山の地形・風向きによる影響も受けるため、居住地からの離隔850mでも影響があるのではと心配している。
- ・ 地域住民は日中は山で仕事をしている。騒音等の影響は居住地だけでなく山からも検討してほしい。
- ・ シカ・カモシカ・イノシシによる被害が大きく、尾根部への風車設置でさらに民家に近づく事を懸念。

■景観

- ・ 熊地区に来る人達は、山の紅葉など自然を求めてくる。
- ・ 熊地区住民は、豊かな自然を大切にしており、後世に残していきたいと考えている。

■林道

- ・ 林道が降雨時に川のようになり、危険である。新たに林道を作るとなると、さらに影響があるのではないかと懸念している。
- ・ 林道の拡幅による水源への影響や、林道の崩落を懸念している。

■その他

- ・ 地域にメガソーラーがあるが、平成30年の台風24号時には、熊地区で7日間停電し、地元へ還元されていない。
- ・ 熊地区に風力発電施設はいらない。
- ・ 過去に計画されていた、民間事業者による風力発電の事業計画に対して、熊地区連合自治会が水源や騒音、景観等の懸念を抱いており、ゾーニング結果が出るまで、環境影響評価の手続きを進めないよう要請をしていた。